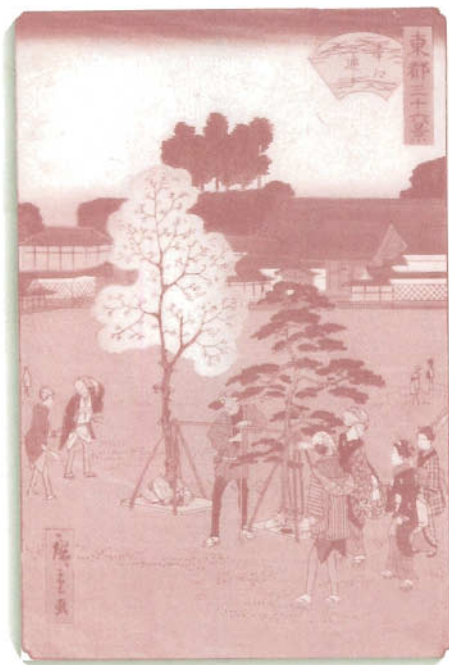


歴史書

5

2006
No. 165



通 信

植木屋はどこから来てどこへ行くか？／平野 恵
歴史書新刊・重版ニュース〈3・4月〉
歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈3・4月〉
歴史書ベストフェア出品／参加書店一覧

歴史書懇話会

植木屋はどこから来てどこへ行くか？

平野 恵

(文京ふるさと歴史館 歴史館専門員)

歌川広重(二代)筆「東都三十六景 本郷通り」は、文久2年(1862)制作の江戸名所を題材とした揃い物の錦絵のひとつである(表紙写真参照)。背景に加賀藩上屋敷が見え、現在地の東大赤門前とは比較にならないほど道幅が広い。画面中央に描かれるのが、菰くこもで根巻きにした桜と松を運搬途中の植木屋である。植木屋のかたわらにいる人々は、植木見物に来たのかと思いきや、視線は植木屋や樹木に注がれてはいない。しかし、一見、まったく無関係に配されたこの植木屋と、通りを歩くグループは、実は、背後の東大赤門と同じように、画題である「本郷通り」に欠かせない要素なのである。

通行人の服装に注目すると、画面右端の女性は折りたたんだ傘を2本担い、右から3番目の女性は風呂敷に包んだ四角い荷物を掲げ、進行方向、画面では向かって左側を指差している。この指差す方向は、地理的にいえば本郷通りを北上することになり、植木屋が集住する駒込村をかすめ、その先には桜の名所として著名な飛鳥山に至る。その距離約5kmで、日帰り旅行には充分適した行程である。女性が手にする四角い包み

はおそらく弁当であり、手拭いをかぶっているのは花見特有の服飾である。したがってこの一行は、飛鳥山花見に赴く行楽の様を図化したものであると考えられる。

一方、植木屋の運ぶ樹木のひとつは桜である。本職の花弁園芸業者にお聞きしたところ、少々つぼみがほころんだ状態を運ぶことはあっても、本図のように満開になってしまった状態の桜を運ぶことはまずあり得ないそうである。このことから、絵師は運搬の実情を無視してまで、満開の桜を描きかかったと考えられる。季節が春であると強調したかったのも大きな理由であろう。しかし、飛鳥山の花見を暗示するためには、どうしても満開の桜が必要であり、絵師の意志で配された絵画的表現であるともなされよう。それでは、植木屋そのものは、飛鳥山花見を示唆するためだけに用意された付随物なのであるのか。

結論を先にいえば、そうではない。物資輸送の基幹道路としての「本郷通り」を表現するには、植木屋が恰好の画題なのである。本図より以前に成立した、江戸の風景を描く『江戸名所図会』にも、植木屋の姿はある。巻五「根津権現旧地」には、千

駄木坂（団子坂）から北へ折れ動坂道を運搬途中の植木屋が描かれ、巻六「浅草寺」には、浅草寺門前の植木棚にならべられた鉢植と、その手前の樹木の脇に二人が座り込んでいる。前者は、一本の樹木を二人で運搬、後者は運搬状態でないが四本の樹木に二人の植木屋であり、どちらも錦絵



『江戸名所図会』巻6 浅草寺の植木市

「本郷通り」のように、枋（おうご。天秤棒）に樹木一本あるいは二本を結び付けた状態であるから、二人で一本、または一人で二本を運搬するというのが通常の運搬方法であったとわかる。

「根津権現旧地」は、現在の地下鉄千駄木駅西側の団子坂一帯を描き、この辺りは植木屋が集住している地帯として著名であった。動坂道とは、現在の東京都文京区・北区・荒川区の区境に程近い、「動坂上」交差点上に向かう道と考えられ、ここからの行く先としては、例えば大名庭園として著名な六義園などの武家屋敷や、本郷通り沿いに立ち並ぶ寺院内へ納品することが予想される。到達点が定かではないが、出発点は団子坂植木屋であることは間違いない。

浅草寺は、いうまでもなく江戸の盛り場として著名な寺院で、『江戸名所図会』では、植木市の店番といった風情に描かれる。近世後期の江戸における寺社境内における植木市は、それぞれの縁日ごとに行われていたので、毎日のようにどこかの寺

社で植木市が開催されていたはずである。その中でも観光地としても知名度が高い浅草寺は、植木を持ち寄り販売して利益をあげるには絶好の土地柄であった。ここでは浅草寺という到達点ははっきりしているが、植木屋がどこから来たのか不明である。

『江戸名所図会』でわかることは、植木屋が樹木を運搬する風景は、特別珍しいものではなく日常的に見られていた点であり、植木屋がそこにいてごく当たり前のところに配置され描かれている。この前例を踏襲し、「本郷通り」の植木屋もそこに登場する必然性がある描かれているのである。そしてその描写地として選ばれたのが「本郷通り」という道であるのならば、「通り」が出发点や到達点であるわけではなく、日常的に認められた植木屋の運搬風景が何よりの絵画の主題であったに違いないと私は考えるのである。本図を構成する、飛鳥山への行楽、加賀藩上屋敷（赤門）、通りの広さ、植木屋の樹木運搬とちりばめられた要素の中で、植木屋が最も際立っている。

植木屋はどこから来てどこへ行くか？

私はひそかにこの錦絵を「本郷の植木屋」と呼んでおり、山の手地域の植木屋を図化した史料として重宝している。

もちろん、本郷に植木屋が住んでいるというわけではない。ここ数年私は、朝顔・菊細工の番付や図譜を中心に、植木屋の居住地・名前のデータ入力をすすめているが、手元のデータには、本郷在住の植木屋は見当らない。赤門前の本郷通りを通り過ぎる可能性が高い別の地域の植木屋を想定しなければならないであろう。ここに描かれる植木屋の到達点は、本郷付近の大名屋敷や寺院境内と考えられる。出発点としては、最も距離的に近い、伝中（現、東京都文京区本駒込）または団子坂（同千駄木）が考えられる。近世後期の植木屋が集住する地域という点と染井村（同豊島区駒込）が名高いが、この錦絵に描かれるような樹木を育てて納品するという特色は、草花を中心に栽培する染井村よりは、駒込村伝中や団子坂の植木屋の方が得意とした分野であった。いずれにしても飛鳥山花見に向かう一行とは逆の方向、北側から運んできたと考えられ、錦絵の描かれている地点、赤門前ですれ違うのである。画面では右からきて左へ行く花見の一行と、左からきた植木屋という対比、また動と静という対比が、物と人が行き交う「本郷通り」の特徴を描き出し、画題である「通り」としての活気を感じさせてくれるのである。そして、くだくだしい説明を要することなく、江戸に住まう当時の人々は、瞬時にこ

れらのことを読み取り、楽しんだと思われる。

以上、錦絵「本郷通り」や『江戸名所図会』を用いて試みたように、「植木屋」というキーワードを用いて、江戸・東京地域を読み解いたのが、『十九世紀日本の園芸文化 江戸と東京、植木屋の周辺』である。植木屋をキーワードにした場合、明らかになったのは地域史だけではない。西洋博物学の影響下において本草学者のアシスタントとしてあるいはアドバイザーとして存在し、ついには自分自身が本草学者としての活動を始めてしまう人物、書画会の様式にならって園芸品評会を開いた人物、アミューズメントパークとしての花屋敷を開園し、菊人形という新しい娯楽を生み出した人物など、植木屋が植木を栽培して納品する存在だけではない事例をできるだけ多く掲げたつもりである。そこには文芸・本草分野との深い関連性が浮き彫りになり、都市における特徴としての文化・思想における相互影響が見られた。このことにより、都市江戸・東京にとって、「植木屋」がただの一職種として軽んずべきではない点が推し量れるであろう。錦絵「本郷通り」においても、魚屋や八百屋はけっして画題に選ばれることはなく、その当時最も勢いがある職業としての植木屋が、必然的に選ばれた気がしてならない。

表紙写真 「東都三十六景 本郷通り」文京ふるさと歴史館蔵

新刊ニュース

3・4月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

記念日・祝日の事典

加藤迪男編

A 5判 248頁 1,680円 東京堂出版〔4月刊〕

「毎日が記念日」と言われるほど、1年365日のほとんどが記念日である。本書は官公庁をはじめ、業界団体や企業・組合などが定めた記念日と祝日を収録。 4—490—10689—0

暦を知る事典

岡田芳朗編

四六判 324頁 2,625円 東京堂出版〔4月刊〕

暦とは何か。本書は暦のしくみや、わが国における暦法の変遷を概観し、地方暦や特殊な暦、時刻制度各般までを解説した。各種換算表や未来暦なども充実。 4—490—10686—6

民衆史を学ぶということ

佐々木潤之介著

四六判 260頁 2,415円 吉川弘文館〔4月刊〕

近世史研究の泰斗が歴史学を志すきっかけを語り、在来の技術、天皇制と民衆意識、幕末の「世直し」、戦後歴史学の展開を分かり易く解説。 4—642—07957—2

20世紀の歴史家たち(5)日本編(続)

今谷・大濱・尾形・樺山編

四六判 300頁 2,800円 刀水書房〔4月刊〕

歴史家は20世紀を如何に生きたか。歴史学は如何に展開したか。「20世紀の歴史学の形成に巨大な貢献を果たした」日本と世界の歴史家117人の列伝(全5巻)が完成。 4—88708—232—0

日本現存朝鮮本研究

藤本幸夫著

A 4判 1344頁 24,150円 京都大学学術出版会〔3月刊〕

室町期以降にわが国に伝来した朝鮮本は膨大な数になる。うち、御製・書簡・小説・随筆などの「集」の現存本の集大成。漢語圏書誌学の金字塔。 4—87698—666—5

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

信濃大室積石塚古墳の研究Ⅱ

大室谷支群・大石単位支群の調査

大塚初重・小林三郎編

B 5判 242頁 8,571円 東京堂出版〔4月刊〕

大室古墳群五支群のうち、明治大学が調査した大室谷支群（村東・大石・ムジナゴローの各単位支群）から、本書は大石単位支群9基の発掘結果をまとめた。 4—490—20583—X

古代翡翠文化の謎を探る

小林達雄編

四六判 184頁 2,100円 学生社〔3月刊〕

古代日本のヒスイ文化はなぜ消えたか？ 翡翠とは何か？ 縄文時代の玉文化の展開、翡翠をめぐる生産と交易等、姿を消した謎の翡翠文化の全貌を解き明かす！ 4—311—20295—4

古墳時代の王権と軍事

藤田和尊著

A 5判 384頁 8,190円 学生社〔5月刊〕

古墳に副葬された武器・武具は何を語るか？ 武器・武具から解明される古墳時代の王権・政權構造とは？ 武器武具の保有形態や生産体制から古墳時代を解く。4—311—30488—9

出雲の考古学と「出雲國風土記」

古代出雲王国の里推進協議会編

四六判 304頁 2,520円 学生社〔4月刊〕

古代の出雲はどのような国だったか？『出雲國風土記』、銅鐸や銅剣などの「青銅器」、巨大柱が出土した「出雲大社」まで、謎を秘めた「出雲」を解明！ 4—311—20299—7

埴輪づくりの実験考古学

大学合同考古学シンポジウム実行委員会編

四六判 264頁 2,520円 学生社〔4月刊〕

「埴輪」は誰が、何のために、どのようにつくったか？「埴輪」から何がわかるか？「埴輪」の製作実験から、「埴輪」に秘められた謎を解き明かす！ 4—311—20272—5

東北アジアの青銅器文化と社会

甲元眞之著

A 5判 304頁 6,300円 同成社〔3月刊〕

東北アジアの青銅器をめぐる集団の展開過程を帯銘銅器の分析を中心に追求。殷周文化の影響とともに東北アジア地域の独自性を検証する。 4—88621—353—7

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

伊勢斎宮跡

日本の遺跡9

泉 雄二著

四六判 198頁 1,890円 同成社〔4月刊〕

古代より伊勢神宮に仕えるため都から派遣され、斎王（いつきのみこ）と呼ばれた皇族女性の宮殿＝斎宮の往時の姿を浮かび上がらせる。 4—88621—350—2

白河郡衙遺跡群

日本の遺跡10

鈴木 功著

四六判 192頁 1,890円 同成社〔4月刊〕

大化改新前後の陸奥国最大の白河郡における地方豪族の動向が半径二キロの範囲に集中した古墳・居館・郡衙・寺院によって解明される。 4—88621—354—5

歴史と文学のあいだ

歴史研究の最前線5

仁藤敦史編

A 5判 146頁 945円 吉川弘文館〔3月刊〕

ヤマトタケル東征伝承をキーに歴史と文学から古代東国の実像に迫る。『古事記』『日本書紀』『常陸国風土記』から王権の構造などを探る。 4—642—07954—8

禁裏・公家文庫研究 第二輯

田島公編

B 5判 400頁 10,290円 思文閣出版〔4月刊〕

東山御文庫本を中心に、近世の禁裏文庫所蔵の写本や、公家の語文庫収蔵本に関する論考・史料紹介・データベースを収載するシリーズの待望第二輯。 4—7842—1293—0

戦国遺文 古河公方編 全1巻

佐藤博信編

A 5判 440頁 18,000円 東京堂出版〔4月刊〕

室町將軍に比する地位にあった関東足利氏の発給・受給文書およそ1450通を、古河公方、一族、雪下殿・小弓公方、奉行人の4編に分け、編年によって収録。 4—490—30594—X

大神宮儀式解 前篇

増補 大神宮叢書5

神宮司庁蔵版

菊判 832頁 10,500円 吉川弘文館〔4月刊〕

伊勢神宮に関する必須の文献資料を集成した、神宮史研究・神宮考証学の基礎をなす一大叢書。新たに4書目8巻を精選増補。〈第5回配本〉 4—642—00385—1

ちょっとまじめな日本史 Q&A

上巻（原始古代・中世）

五味文彦・野呂肖生著

四六判 216頁 予価2,000円 山川出版社〔3月刊〕

本書は、知っているようで意外と知られていない日本史の基本事項や歴史名辭の語義・読み方などについて、最新の研究を踏まえて解説する。173問を収録。 4—634—59042—5

東アジアのなかの日本古代史

田村圓澄著

四六判 310頁 2,940円 吉川弘文館〔4月刊〕

近隣諸国との「歴史認識」「外交問題」を考える手がかりは古代史にある。友好と対立の歴史を辿り、古代日本を東アジア世界に位置づける。 4-642-07955-6

古代東国地域史と出土文字資料

高島英之著

A 5判 394頁 9,975円 東京堂出版〔4月刊〕

第1部古代東国地域史論、第2部出土文字資料からみた在地村落社会のあり方を出土文字資料を駆使して考察。著者多年のフィールドワークに基づく労作。 4-490-20578-3

日本古代社会経済史論考

梅村喬著

A 5判 472頁 9,765円 塙書房〔3月刊〕

贄・出挙・「所」等の律令制に不可欠の諸側面や「在地」・土地公証・地頭などの土地制度を考察し、平安国家の様相を解明。社会経済史に新視点を提起。 4-8273-1202-8

菅原道真の詩と学問

谷口孝介著

A 5判 440頁 9,450円 塙書房〔3月刊〕

『菅家文章』『菅家後集』の漢詩文学作品と道真の官職との関係を重視して読解。道真の志向した生きられた記録としての作品「史としての詩」のあり方を解明。 4-8273-0100-X

Women in Medieval Japan

Motherhood, Household, Management and Sexuality

脇田晴子著 アリソン時田訳

菊判 400頁 8,610円 東京大学出版会〔4月刊〕

日本女性史研究をリードしてきた著者の主著(『日本中世女性史の研究』1992年小会刊)の英訳。中世的な「家」や中世社会の構造分析に新たな視点を提示する。 4-13-027033-8

中世史へのいざない

石井進の世界6

石井進著作集刊行会編

四六判 400頁 6,825円 山川出版社〔3月刊〕

石井進の魅力を味わうシリーズ最終巻。回顧と展望、追悼文、随筆、随想、著作目録などを収録し、石井進の世界の全貌を提示。 4-634-59056-5

佐々木六角氏の系譜

系譜学の試み

佐々木哲著

四六判 200頁 2,310円 思文閣出版〔3月刊〕

平安から戦国まで、佐々木六角氏の系譜をたどり、35人について、その行状を明らかにする。佐々木六角氏の人物事典としても有用。 4-7842-1290-6

古記録による15世紀の天候記録

水越允治編

A 4判 750頁 39,900円 東京堂出版〔4月刊〕

「兼宣公記」「言国卿記」「建内記」など、200の古記録から15世紀100年間の天候を拾い出し、月ごとにまとめた。応仁の乱前後の畿内の天候を知る好個の史料。 4-490-20580-5

中世東国の荘園公領と宗教

峰岸純夫著

A 5判 368頁 9,975円 吉川弘文館〔4月刊〕

足利・安達氏らを輩出した荘園・公領の実態と宗教の展開を、文献・考古資料を渉猟し解明。遺跡の保存と地域史研究の重要性を説く。 4-642-02854-4

室町幕府の政治と経済

桑山浩然著

A 5判 330頁 9,450円 吉川弘文館〔4月刊〕

足利義教期を中心に、政治体制の推移と将軍個人の役割を解明。奉行人制をめぐる問題などを通して、室町幕府の権力・財政構造を探る。 4-642-02852-8

徳川将軍側近の研究

福留真紀著

A 5判 274頁 7,350円 校倉書房〔4月刊〕

五代将軍綱吉から八代将軍吉宗までの期間、柳沢吉保・間部詮房など、将軍側近が徳川幕府の政治構造のなかで、どのような位置を占めるのかを考究した。 4-7517-3720-1

十九世紀日本の園芸文化

江戸と東京、植木屋の周辺
平野恵著

A 5判 544頁 6,825円 思文閣出版〔4月刊〕

従来の園芸史では言及されなかった本草学・見世物研究分野を視野に入れ、化政期の狂歌界との関連を指摘するなど「園芸文化」という新領域を開拓する。 4—7842—1292—2

近世日本の商人と都市社会

杉森玲子著

A 5判 352頁 6,510円 東京大学出版会〔4月刊〕

商業や流通の担い手である商人に注目。商品や商行為を媒介として、人や社会との間にいかなる関係を形成し、江戸などの大都市で活動を展開させたかを解明する。 4—13—026212—2

生類憐みの世界

江戸時代史叢書23
根崎光男著

四六判 248頁 2,625円 同成社〔4月刊〕

17世紀日本の動物愛護令である生類憐みの令を詳細に検討し、人間が動物保護にどのように取り組むかの歴史的視座を提供する。 4—88621—352—9

ちょっとまじめな日本史 Q&A

下巻（近世・近代）
五味文彦・野呂肖生著

四六判 216頁 予価2,000円 山川出版社〔3月刊〕

本書は、知っているようで意外と知られていない日本史の基本事項や歴史名辭の語義・読み方などについて、最新の研究を踏まえて解説する。166問を収録。 4—634—59043—3

江戸幕府の日記と儀礼史料

小宮木代良著

A 5判 416頁 11,025円 吉川弘文館〔3月刊〕

江戸幕府史料のうち、日記など記録類と儀礼史料について史料批判を試みる。『徳川実紀』の引用史料「右筆所日記」の成立・伝来を分析。 4—642—03410—2

駆け込寺と村社会

佐藤孝之著

四六判 360頁 3,465円 吉川弘文館〔4月刊〕

江戸時代、人びとは救済や謝罪のために寺院へ駆け込んだ。村の紛争解決システムだった駆け込みを考察。村社会と寺院の役割を見直す。 4—642—07956—4

日本産業革命期における地方の政治と経済

加藤 隆編著

A 5判 332頁 8,400円 東京堂出版〔3月刊〕

産業革命期の地方政治と地域経済の進展を、埼玉・福島・山梨などの動向に焦点をあて、詳説。執筆＝渡辺隆喜、富田信男、加藤隆、柳澤幸治、秋谷紀男。 4—490—20582—1

現代歴史学と南京事件

笠原十九司／吉田裕編

A 5判 264頁 3,360円 柏書房〔3月刊〕

歴史教科書問題や戦後補償裁判などで明らかになった資料を踏まえ、南京事件を〈国際法〉〈性暴力〉〈戦争の記憶〉という新しい切り口で分析。 4—7601—2885—9

戦後政治と自衛隊

歴史文化ライブラリー-212
佐道明広著

四六判 304頁 1,995円 吉川弘文館〔4月刊〕

軍事をタブー視した戦後政治のなか、自衛隊はどのように成長したのか。日米関係や防衛政策の内実を解明。転換点に立つ自衛隊の実態に迫る。 4—642—05612—2

山口県の歴史散歩

歴史散歩35
山口県歴史散歩編修委員会編

B 6変型判 336頁 1,260円 山川出版社〔3月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・おもな祭り・散歩便利帳・参考文献・年表など付録も充実。 4—634—24635—X

愛媛県の歴史散歩

歴史散歩38
愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会編
B 6変型判 300頁 1,260円 山川出版社〔3月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・おもな祭り・散歩便利帳・参考文献・年表など付録も充実。 4—634—24638—4

千葉県歴史散歩

歴史散歩12
千葉県高等学校教育研究会歴史部会編
B 6 変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔4月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・おもな祭り・散歩便り帳・参考文献・年表など付録も充実。
4-634-24612-0

壹岐・対馬と松浦半島

街道の日本史49
佐伯弘次編
四六判 260頁 2,730円 吉川弘文館〔3月刊〕

大陸と海上の道で結ばれた、松浦・壹岐・対馬。大陸や半島文化の伝来、蒙古襲来、朝鮮侵略、日清・日露戦争など、激動の歴史を再発見する。
4-642-06249-1

大坂 摂津・河内・和泉

街道の日本史33
今井修平・村田路人編
四六判 304頁 2,730円 吉川弘文館〔4月刊〕

瀬戸内海航路の窓口大阪湾と、その周辺に栄えた摂河泉。難波宮、貿易港堺、秀吉の築城から天下の台所へ。大阪の過去と現在をゆく。
4-642-06233-5

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

シネマウォーク in World History I

改訂新版 通史編
伊藤弘成著
A 5 判 208頁 2,625円 山川出版社〔3月刊〕

映画で学ぶ世界史。PART I の旧作22本の内容も全面改定し、新作25本を追加。

4-634-64017-1

東ユーラシアの生態環境史

世界史リブレット83
上田 信著
A 5 変型判 96頁 765円 山川出版社〔4月刊〕

中国雲南地方を例に取り、自然の生態系システムの中でいかに文化が作られ、交易がおこなわれ、歴史が築かれてきたかをダイナミックに描く。
4-634-34830-6

近代朝鮮の雇用システムと日本

制度の移植と生成
宣在源著
A 5 判 200頁 6,090円 東京大学出版会〔4月刊〕

旧支配秩序の大変動と異民族支配という状況下の植民地期に、朝鮮における雇用システムはいかに形成されていったのか。

4-13-046090-0

曼荼羅都市

ヒンドゥー都市の空間理念とその変容
布野修司著
菊判 500頁 5,250円 京都大学学術出版会〔3月刊〕

王国都市チャクラヌガラ。インド的であると同時に平安京にも似るその構成はどこから来たか？ アジア都城の空間原理を実証的に示す。
4-87698-673-8

タイ国—近現代の経済と政治

P. ポンバイチット／C. ベイカー著
A 5 判 750頁 13,000円 刀水書房〔4月刊〕

タイ・東南アジアの研究者・学生・政府機関必携の現代タイの基本図書。地方と農民、都市経済、労働運動。バンコク王朝初期から2001年までの政治史を描く。 4-88708-350-5

フランス東インド会社とボンディシェリ

YAMAKAWA LECTURES 3
フィリップ・オドレール著、羽田 正編
B 6 判 136頁 予価1,470円 山川出版社〔4月刊〕

18世紀、アジアの海域を舞台に発展したフランス東インド会社の、貿易商人や宣教師の活躍など、多方面にわたる活動の全容を明らかにする歴史学講義。 4-634-47503-0

史料が語るビザンツ世界

和田 廣著
四六判 320頁 3,675円 山川出版社〔3月刊〕

様々なビザンツ人の証言(史料)を通じて、「ビザンツ人」・「ビザンツ世界」を探る書。理論偏重の解説スタイルはとらず、史料に語らせる形態にこだわる。 4-634-64022-8

スキャンダルと公共圏

YAMAKAWA LECTURES 1
ジョン・ブルーア著、近藤和彦編
B 6判 192頁 予価1,995円 山川出版社〔4月判〕

18世紀のイギリスは、王や貴族、政治家の行状が諷刺され、メディア対策が政治家の命運を決する時代であった。公と私の関係から、民衆と政治を論じる歴史学講義。4—634—47501—4

幻影のローマ

〈伝統〉の継承とイメージの変容 歴史学の現在 第11巻
歴史学研究会編
四六判 452頁 4,200円 青木書店〔3月判〕

権力・価値観・アイデンティティの象徴として時代を超え再創造されつづける「ローマ」——そのイメージの変容を政治・宗教・文化の面から論究する。4—250—20609—2

ヴァイキング時代

学術選書009・諸文明の起源 9
角谷英則著
四六判 256頁 1,890円 京都大学学術出版会〔3月判〕

8世紀半ばから11世紀、北欧人は「移動の時代」を生きた。「ヴァイキング」として記録される彼らの独特の生活と文化を描く。4—87698—809—9

マゼラン 世界分割を体現した航海者

合田昌史著
A 5判 350頁 5,040円 京都大学学術出版会〔4月判〕

遠征に隠された目的を論究し、スペイン・ポルトガル両国による地球の二等分割「分界」を体現した航海者としての新しいマゼラン像を浮上させる。4—87698—670—3

古代から中世へ

YAMAKAWA LECTURES 2
ビーター・ブラウン著、後藤篤子編
B 6判 136頁 予価1,470円 山川出版社〔4月判〕

古代ローマと中世ヨーロッパが交錯する時代の変化を、遠く離れた周縁の地で展開されたキリスト教に着目して、ダイナミックに論じる歴史学講義。4—634—47502—2

ベトナム戦争のアメリカ

白井洋子著
四六判 250頁 2,500円 刀水書房〔4月判〕

アメリカ史全体の中で、先住民征服の延長上にベトナム戦争を位置づけた「もう一つのアメリカ史」。ベトナム戦争三〇年説、ベトナム帰還兵の問題など。4—88708—352—1

ラテンアメリカ現代史Ⅲ メキシコ・中米・カリブ海地域

世界現代史35
二村久則著
四六判 550頁 予価3,500円 山川出版社〔4月判〕

先住民の伝統、ヨーロッパの技術、アフリカの文化が同居し、混じりあい、かつ反発しあっているこれらの地域の共通性と多様性を描く。4—634—42350—2

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

精選日本民俗辞典

福田アジオ・神田より子・新高谷紀・中込睦子・湯川洋司・渡邊欣雄編
菊判 704頁 6,300円 吉川弘文館〔3月判〕

知っておきたい日本の民俗、700余を精選！ナマハゲ・見るなの座敷・足入れ婚・オシラサマ・河童・雪隠参り・人身御供など、幅広い用語を解説。4—642—01432—2

戦争Ⅱ

近代戦争の兵器と思想動員 【もの】から見る日本史
山田朗編
A 5判 248頁 3,150円 青木書店〔3月判〕

戦争の遂行に必要なハードとソフトウェアと、兵器と人間を動員・統制するシステムから、人々を戦争に向かわせ、それを支える【もの】を検討する。4—250—20608—4

ポピュラーサイエンスの時代

20世紀の暮らしと科学
原克著
四六判 288頁 2,940円 柏書房〔3月判〕

誰もがお世話になった懐かしの〈モノ〉で20世紀を読む。20世紀に発明されたテクノロジーを紹介した通俗雑誌に、大衆の夢と欲望を読む。図版200点。4—7601—2886—7

シリーズ都市・建築・歴史 3

中世的空間と儀礼

鈴木博之・石山修武・伊藤毅・山岸常人編

A 5判 464頁 4,830円 東京大学出版会〔3月刊〕

古代から中世への転換期、儀礼の場としての建築物には多様な空間が創出された。その空間の意味を読み解きながら、建築・都市の中世的特質を描き出す。 4-13-065203-6

シリーズ都市・建築・歴史 8

近代化の波及

鈴木博之・石山修武・伊藤毅・山岸常人編

A 5判 368頁 4,410円 東京大学出版会〔4月刊〕

世界的な西洋化の波が与えた非西洋文化圏への衝撃—自立性の危機という問題をほらみつつも変わってゆく固有の文化のあり方を、具体的な事例に即して論じる。 4-13-065208-7

戦国織豊期の社会と儀礼

二木謙一編

A 5判 550頁 17,850円 吉川弘文館〔3月刊〕

儀礼をテーマに集う研究者たちによる最新論考23編。政治と儀礼、武家社会の作法、権力と制度、文化と宗教の4つの視座からなる。 4-642-02850-1

神国論の系譜

鍛代敏雄著

四六判 200頁 1,890円

法蔵館〔4月刊〕

信長は生きて神体を宣言し、秀吉は豊国大明神に、家康は日光東照大権現として「神」になった。天下人は神国に固有の文明を見極めた。他国に優越する神国論はどのように創造されたのか、その系譜を古代から探求する。 4-8318-7470-1

近世修験道文書

越後修験伝法十二巻

宮家準解題

A 5判 736頁 予価13,650円 柏書房〔4月刊〕

近世修験者の職能、修法、祈祷法が記された希少な史料。越後国高田、天照山靈験寺金剛院に伝わる資料「伝法十二巻」を復刻。解題、解説を収録。 4-7601-2807-7

親鸞読み解き事典

林智康他編著

四六判 360頁 予価3,990円

柏書房〔4月刊〕

親鸞750大遠忌を前に、注目が集まっているその思想と歴史を中心に、親鸞に関する様々な事象を記述したハンディー事典。最新の研究を集大成。 4-7601-2902-2

関山慧玄と初期妙心寺

加藤正俊著

A 5判 390頁 6,825円

思文閣出版〔3月刊〕

後世の関山伝や印可状などの諸史料を精密に分析し、初期妙心寺における関山を中心とした諸問題にとりくみ、宗門の密室性に分け入った一書。 4-7842-1281-7

中世の女性と仏教

西口順子著

四六判 240頁 2,415円

法蔵館〔3月刊〕

巫女や尼等の女性宗教者は、その祭祀組織においてどのような役割を果たしたのか。女人救済思想や巫女の活動の実態などをめぐる「女性と仏教」をテーマに鮮やかに解明する。 4-8318-7469-8

中世伊勢神宮史の研究

平泉隆房著

A 5判 360頁 9,975円

吉川弘文館〔4月刊〕

中世の伊勢神宮はどのような歴史を歩んだのか。鎌倉時代を中心に遷宮、公卿勅使など諸問題を解明し、伊勢神道の成立・展開過程を追究。 4-642-02853-6

日本人の宗教と庶民信仰

圭室文雄編

A 5判 516頁 16,800円

吉川弘文館〔4月刊〕

政治と宗教、寺院経営の諸相、庶民信仰の展開、仏教者の思想と救済活動、国家と宗教をテーマに、日本人の宗教をたどる意欲的論考25篇。 4-642-01367-9

日本中世の墓と葬送

勝田 至著

A 5判 366頁 8,400円

吉川弘文館〔4月刊〕

風葬・遺棄から仏教的葬儀・共同墓地へ。中世の葬墓制はいかなる変遷を遂げたのか。触穢・屋敷墓など葬墓制の諸相から実態を究明。 4-642-02851-X

絶対透明の探求

遠藤高環著『写法新術』の研究

尾鍋智子著

A 5判 310頁 6,090円

思文閣出版〔3月刊〕

18世紀後半から幕末にかけての視覚論についての時代状況を論じた上で、遠藤高環『写法新術』の内容を分析し、その先進的業績を明らかにする。 4—7842—1294—9

仮名草子集成 第39巻

菊池真一・深沢秋男・和田恭幸編

A 5判 326頁 18,375円

東京堂出版〔3月刊〕

案内記・評判記・教訓物・笑話など、多様な仮名草子を網羅すべく約250編を収録する。「若輩抄」「聚楽物語」「死霊解脱物語聞書」「女訓抄」（影印）を取める。 4—490—30537—0

数奇の革命

千利休と織部の死

児島孝著

四六判 250頁 2,100円

思文閣出版〔3月刊〕

千利休と古田織部の死に焦点を当て、「茶の湯に習いはない」をキーワードに、日本文化の成り立ちに決定的な影響を与えた数奇の茶の実像を明らかにする。 4—7842—1283—3

苗字と名前の歴史

歴史文化ライブラリー-211

坂田 聡著

四六判 208頁 1,785円

吉川弘文館〔3月刊〕

日本人の多種多様な苗字と名前は、何に起因するのか。苗字の歴史をたどり、家名と家制度、夫婦別姓問題など様々な視点から説く。 4—642—05611—4

慰霊・追悼・顕彰の近代

日本歴史民俗叢書

矢野敬一著

A 5判 286頁 7,350円

吉川弘文館〔3月刊〕

戦死者を慰霊・追悼・顕彰の対象とするシステムの形成やメディアのかかわり、郷土意識がナショナリズムに再編成される様相を検証する。 4—642—07368—X

家相の民俗学

日本歴史民俗叢書

宮内貴久著

A 5判 320頁 7,350円

吉川弘文館〔3月刊〕

風水思想の一部が「家相」と呼ばれ普及した。家相図、聞き取り調査から、人々はどんな住居が安寧に暮らせると考えてきたかを探る。 4—642—07367—1

すくいの神とお富士さん

宮田 登 日本を語る 2

宮田 登著

四六判 240頁 2,730円

吉川弘文館〔3月刊〕

ミロク信仰とは何か。救世主＝弥勒と民間信仰との関わりから日本人の世界観を探る。富士講や鯉信仰にも注目。宮田民俗学の源流を示す。 4—642—07134—2

はやり神と民衆宗教

宮田 登 日本を語る 3

宮田 登著

四六判 246頁 2,730円

吉川弘文館〔4月刊〕

祀り上げ、そして祀り棄てられる流行神とは何か。富士塚信仰・福の神・オタモイ地蔵から、「世直し」「世直り」などの世界観を究明する。 4—642—07135—0

伝記

大江匡衡

人物叢書242

後藤昭雄著

四六判 256頁 1,890円

吉川弘文館〔3月刊〕

平安中期の文人官僚。妻は歌人・赤染衛門。優れた漢詩文を制作し、一条天皇の侍読などを歴任。平安朝漢文学の世界に足跡を残した生涯を描く。 4—642—05235—6

京極為兼

人物叢書243

井上宗雄著

四六判 304頁 1,995円

吉川弘文館〔4月刊〕

鎌倉後期の歌人。革新的な歌風「京極派」を確立する。立場を超えた政治介入を疎まれ、二度の配流に遭った波瀾の生涯を描く実伝。 4—642—05236—4

雑 誌

日本歴史 4月号（第695）＝3月刊
5月号（第696）＝4月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔3・4月刊〕

重 版

中国女性の100年

史料にみる歩み

中国女性史研究会編

A 5判 260頁 3,045円

青木書店〔3月刊〕

激動の時代を中国女性はいかに生きたか——。多数の史料とわかりやすい解説・コラムで構成し、近現代中国のさまざまな女性たちの姿を描き出す。 4—250—20404—9

20世紀中国の政治空間

「中華民族的国民国家」の凝集力 中国にとっての20世紀

西村成雄著

四六判 352頁 3,570円

青木書店〔3月刊〕

孫中山、蒋介石、毛沢東、鄧小平の時代と、四半世紀ごとに転換をとげた20世紀中国。国民国家的凝集と中華世界的凝集を鍵概念に中国政治史を描く。 4—250—20413—8

銭貨前近代日本の貨幣と国家

【もの】から見る日本史

池 亨編

A 5判 224頁 2,940円

青木書店〔4月刊〕

貨幣を媒介に、人々はいかなる社会関係を築き、また国家は、いかなる貨幣政策を展開してきたのか。貨幣の役割を日本と東アジアのなかに位置づける。 4—250—20119—8

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2006. 3・4

――青木書店――

- 均等法改正で平等は可能か 女性労働問題研究会編……………A 5判 1,575円 1月
 地方財政論 関野満夫著……………A 5判 2,100円 3月
 社会理論の基礎・下巻 ジェームズ・コールマン著 久慈利武監訳……………A 5判 7,875円 4月
 第3版 日本政治の転換点 小野耕二著……………四六判 予価2,500円 4月

――明石書店――

- インド民主主義の変容 広瀬崇子ほか編著……………A 5判 5,250円 3月
 タイ・マッサージの民族誌 「タイ式医療」生成過程における身体と実践 飯田淳子著
 ………………A 5判 6,615円 3月
 ハンセン病検証会議の記録 検証文化の定着を求めて 内田博文著……………四六判 7,350円 3月
 言語学とジェンダー論への問い 丁寧さとはなにか サラ・ミルズ著 熊谷滋子訳
 ………………四六判 4,158円 3月
 アメリカの中絶問題 出口なき論争 緒方房子著……………四六判 4,410円 3月
 平和概念の再検討と戦争遺跡 東アジア教育文化研究シリーズ1 君塚仁彦編著
 ………………A 5判 3,780円 3月

――大月書店――

- 幻滅の資本主義 伊藤誠著……………四六判 2,520円 3月
 続・はじめて学ぶジェンダー論 伊田広行著……………A 5判 1,995円 3月
 現代の食と農をむすぶ 江尻彰・椋原正澄著……………A 5判 2,100円 4月
 10代のセルフケア③共依存かもしれない ケイ・マリー・ポーターフィールド著
 ………………四六判 1,470円 4月

――京都大学学術出版会――

- 初期ストア派断片集5 西洋古典叢書第Ⅲ期 クリュシッポス他/山口義久・中川純男訳
 ………………四六変型判 3,675円 3月
 孤立と統合 一日独戦後史の分岐点 渡邊尚ほか編……………菊判 4,620円 4月

――思文閣出版――

- 未知への模索 毛沢東時代の中国文学 佛教大学鷹陵文化叢書14 吉田富夫著
 ………………四六判 2,415円 3月

――東京大学出版会――

- On campus 東京大学教養学部英語部会編……………B 5判 1,785円 3月
 刑法総論講義 第4版 前田雅英著……………A 5判 3,780円 3月

概説 日本の地方自治 第2版 新藤宗幸・阿部斉著	四六判	2,520円	3月
正義と幸福 プラトンの倫理思想 天野正幸著	A5判	5,040円	3月
一神教とは何か 公共哲学からの問い 大貫隆・金泰昌・黒住真・宮本久雄編	A5判	5,985円	3月
経済法概説 第4版 松下満雄著	A5判	3,990円	3月
年金制度と国家の役割 英仏の比較法的研究 嵩さやか著	A5判	5,985円	3月
現代日本の農政改革 生源寺眞一著	A5判	5,250円	3月
経済制度の生成と設計 鈴木興太郎・長岡真男・花崎正晴編	A5判	6,090円	3月
韓国の教育と社会階層 「学歴社会」への実証的アプローチ 有田伸著	A5判	6,510円	3月
宗教から考える公共性 公共哲学16 稲垣久和・金泰昌編	A5判	4,725円	3月
知識人から考える公共性 公共哲学17 平石直昭・金泰昌編	A5判	4,725円	3月
日本のイノベーション・システム 日本経済復活の基盤構築にむけて 後藤晃・児玉俊洋編	A5判	5,460円	4月
情報社会の構造 IT・メディア・ネットワーク 犬塚先著	A5判	3,990円	4月
福祉レジームの日韓比較 社会保障・ジェンダー・労働市場 武川正吾・イ・ヘギョン編	A5判	5,460円	4月
アメリカにおける事実審裁判所の研究 溜箭将之著	A5判	6,825円	4月
マハッタの実像 中央アジア社会の伝統と変容 ティムール・ダダバエフ著	A5判	8,925円	4月
組織・経営から考える公共性 公共哲学18 山脇直司・金泰昌編	A5判	4,935円	4月

— 法 藏 館 —

兵戈無用 真宗遺族の悲しみと願い 大分勇哲著	四六判	1,050円	3月
現代社会と浄土真宗の課題 信楽峻磨編	A5判	17,850円	3月
教行証文類講義 第九巻 化身土巻Ⅱ 信楽峻磨著	A5判	11,550円	3月
何を基盤にどう生きるか 経済社会的・宗教的考察 戸田信正著	四六判	2,100円	4月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

2006年〔歴史書ベストフェア〕

出品／参加書店一覧

答えはいつも歴史のなかにある

青木書店

王統譜 小路田他編A 5判	3,000円
帝国日本と華僑 安井三吉著四六判	3,400円
戦争の時代と社会 安田浩他編四六判	3,000円
戦後歴史学再考 歴史学研究会編四六判	2,000円
戦争Ⅰ 小林一岳・則竹雄一編A 5判	2,800円

明石書店

日韓共通歴史教材 朝鮮通信使 日韓共通歴史教材制作チームA 5判	1,300円
若者に伝えたい韓国の歴史 李元淳他著 君島和彦他訳B 5判変形	1,800円
韓国の中学校歴史教科書 三橋広夫訳A 5判	2,800円
パレスチナの歴史 奈良本英佑著四六判	2,800円
わかりやすい中国の歴史 小島晋治監訳 大沼正博訳A 5判	1,800円

校倉書房

マルコポーロ東方見聞録 青木一夫訳四六判	2,000円
女性史としての近世 藪田貫著四六判	3,000円
国境を超えて 村井章介著四六判	3,800円
百姓一揆の時代 青木美智男著四六判	3,800円
日本近世史の可能性 藪田貫著四六判	4,800円

大月書店

これならわかるキリスト教とイスラム教の歴史Q&A 浜林正夫著A 5判	1,400円
これならわかるパレスチナとイスラエルの歴史Q&A 野口宏著A 5判	1,400円
徹底批判「国民の歴史」 「教科書に真実と自由を」連絡会四六判	2,000円
これならわかるハワイの歴史Q&A 石出みどり・石出法太著A 5判	1,400円
父母の国よ 中国残留孤児たちはいま 鈴木賢士／写真・文四六判	1,400円

学生社

古代史からみた万葉歌 岸俊男著B 6判	2,200円
勾玉 水野裕著B 6判	2,600円
水と祭祀の考古学 榎原考古学研究所編四六判	2,400円
古墳のはじまりを考える 金剛愠他著四六判	1,980円
古事記と日本書紀の謎 上田正昭他著B 6判	1,800円

柏書房

古文書はこんなに面白い 油井安子著	……………	A 5判	1,800円
寺子屋式古文書手習い 吉田豊著	……………	A 5判	2,000円
おさらい古文書の基礎 林英夫著	……………	A 5判	2,400円
覚えておきたい古文書くずし字200選 柏書房編集部	……………	A 5判	1,800円
基礎古文書のよみかた 林英夫著	……………	A 5判	2,300円

京都大学学術出版会

都市平安京 西山良平著	……………	菊判	3,600円
以文会友 京都大学文学部今昔 京都大学文学部編	……………	四六判	2,800円
古代マヤ 石器の都市文明 青山和夫著	……………	四六判	1,800円
古代アンデス 権力の考古学 関雄二著	……………	四六判	1,800円

思文閣出版

京の鴨川と橋 門脇禎二・朝尾直弘編	……………	四六判	2,200円
古代日本の輝き 上田正昭著	……………	四六判	1,700円
今昔物語集の人々 中村修也著	……………	A 5判	2,300円
新興俳人の群像 田島和生著	……………	四六判	2,300円
京都 高瀬川 石田孝喜著	……………	A 5判	2,200円

東京大学出版会

日本史講座6 近世社会論 歴史学研究会・日本史研究会編	……………	四六判	2,200円
日本史講座7 近世の解体 歴史学研究会・日本史研究会編	……………	四六判	2,200円
日本史講座8 近代の成立 歴史学研究会・日本史研究会編	……………	四六判	2,200円
日本史講座9 近代の転換 歴史学研究会・日本史研究会編	……………	四六判	2,200円
日本史講座10 戦後日本論 歴史学研究会・日本史研究会編	……………	四六判	2,200円

東京堂出版

くずし字解説辞典(普及版) 児玉幸多編	……………	B 6判	2,200円
くずし字用例辞典(普及版) 児玉幸多編	……………	B 6判	5,800円
日本史年表(増補3版) 東京学芸大学日本史研究室編	……………	B 6判	2,400円
邪馬台国と卑弥呼の事典 武光誠著	……………	四六判	2,400円
古代エジプトを知る事典 吉村作治編著	……………	四六判	2,500円

刀水書房

モンゴルの歴史 宮脇淳子著	……………	四六判	2,800円
ヴェネツィアの歴史 永井三明著	……………	四六判	2,800円
敵国日本 ヒュー・バイアス著 内山他訳	……………	四六判	2,000円
学生反乱 松浦高嶺他著	……………	四六判	2,800円
白人とは何か? 藤川隆男編	……………	四六判	2,200円

同成社

講談日本通史 大濱徹也著	……………	四六判	2,800円
--------------	-------	-----	--------

2006年〔歴史書ベストフェア〕出品／参加書店一覧

鎖国と国境の成立 武田万里子著	四六判	2,200円
西部原古墳群 北郷泰道著	四六判	1,800円
吉野ヶ里遺跡 七田忠昭著	四六判	1,800円
被差別部落の生活 斎藤洋一著	四六判	2,800円

埴 書 房

伊勢齋宮と齋王 榎村寛之著	B 6 判	2,300円
地蔵信仰 速水侑著	新書判	750円
書評で読む歴史学 今谷明著	四六判	1,800円
平家物語の虚構と真実(上) 上横手雅敬著	新書判	900円
平家物語の虚構と真実(下) 上横手雅敬著	新書判	900円

法 藏 館

京都大仏御殿盛衰記 村山修一著	四六判	2,800円
エロスの国・熊野 町田宗鳳著	四六判	2,600円
日本仏教の近世 大桑斉著	四六判	1,800円
立山曼荼羅 絵解きと信仰の世界 福江充著	四六判	2,000円

山川出版社

日韓中の交流 吉田光男編	四六判	1,800円
イスラーム法通史 堀井聡江著	四六判	2,800円
西洋世界の歴史 近藤和彦編	A 5 判	3,200円
考古学探訪の基礎用語 田村晃一他編	A 5 判変形	1,800円
詳説 日本史研究 五味文彦他編	A 5 判	2,381円

吉川弘文館

戦後改革と逆コース(日本の時代史26) 吉田裕編	A 5 判	3,200円
高度成長と企業社会(日本の時代史27) 渡辺治編	A 5 判	3,200円
岐路に立つ日本(日本の時代史28) 後藤道夫編	A 5 判	3,200円
日本史の環境(日本時代史29) 井上勲編	A 5 判	3,200円
歴史と素材(日本の時代史30) 石上英一編	A 5 判	3,200円

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

	北海道	那 河 市	文教堂書店那珂店	佐 倉 市	文教堂書店ユーカリが丘店
千 歳 市	文教堂書店千歳店	栃 木 県		八 街 市	文教堂書店八街店
函 館 市	文教堂書店湯ノ川店	宇 都 宮 市	いけだ書店宇都宮店	成 田 市	くまざわ書店公津店
〃	ゲオ函館店	〃	いけだ書店宇都宮店	市 原 市	文教堂書店市原店
稚 内 市	クラーク書店	今 市 市	文教堂書店今市店	館 山 市	BOOKS 松田屋
	青森県	弘 前 市	文教堂書店佐野店		東京都
五所川原市	くまざわ書店五所川原店	黒 磯 市	あすなる書店	千代田区	文教堂書店市ヶ谷店
	岩手県	足 利 市	岩 下 書 店		文教堂書店飯田橋店
盛 岡 市	東山堂都南店	〃	ビッグワンツキヤ氏家店	〃	改造社書店丸の内国際ビル店
水 沢 市	松田書店大鐘店		群馬県	〃	書原霞ヶ関店
〃	松 田 書 店	高 崎 市	煥乎堂群馬町店	中 央 区	書 原 RC 21 店
紫波郡紫波町	本のくずおか	〃	くまざわ書店高崎店	〃	書 原 晴 海 店
	宮城県	仙台市	文教堂書店館林店	豊 谷 区	啓文堂書店渋谷店
仙 台 市	ヤマト屋書店八幡店	〃	文真堂書店小桑原店	〃	文教堂書店代々木上原駅前店
石 巻 市	ヤマト屋書店あけぼの店	〃	シロキヤ書店	志 木 区	文教堂書店赤坂店
〃	ヤマト屋書店中里店	沼 田 市	戸田書店沼田店	〃	文教堂書店新橋店
〃	ヤマト屋書店港鹿妻店	太 田 市	東 光 堂	〃	書 原 六 本 木 店
	秋田県	吾妻郡中之条町	戸田書店中之条店	品 川 区	文教堂書店大森店
秋 田 市	文教堂書店八橋店		埼玉県	世 田 谷 区	文教堂書店三軒茶屋店
	山形県	さいたま市	文教堂書店浦和原山店	〃	文教堂書店経堂店
山 形 市	文教堂書店山形南店	〃	くまざわ書店宮原店	〃	成 城 堂
〃	こまつ書店寿町本店	〃	板山明文堂西浦和店	〃	田 中 堂
〃	こまつ書店鈴川店	〃	押 田 謙 文 堂	大 田 区	文教堂書店糞谷店
天 童 市	宮脇書店天童店	〃	文教堂書店三郷店	川 井 区	恭 文 堂 書 店
米 沢 市	マツヤブックセンター	込 合 市	文教堂書店東越谷店	中 野 区	文教堂書店中野坂上店
酒 田 市	青山堂中央店	〃	竹鳥書店蒲生店	杉 野 区	ブックセラース西荻
鶴 岡 市	くまざわ書店鶴岡店	狭 山 市	文教堂書店狭山店		書 原
東田川郡三川町	戸田書店三川店	〃	書 原 狭 山 店	宇 田 区	くまざわ書店錦糸町店
西直隴郡白鷹町	ブックス松川屋	坂 本 市	よむよむ坂戸入西店	心 野 区	薦 屋 亀 有 店
	福島県	東松山市	文林堂高坂店	台 東 区	書店かっぱ上野店
郡 山 市	みどり書房桑野店	熊 谷 市	薦 屋 熊 谷 店	武 蔵 野 市	啓文堂書店吉祥寺店
〃	みどり書房イオンタウン店	児玉郡上里町	文教堂書店本庄店	三 鷹 市	啓文堂書店三鷹店
いわき市	鹿島ブックセンター		千葉県	国 分 寺 市	三 成 堂
白 河 市	みどり書房白河店	千 葉 市	文教堂書店都賀店	調 布 市	書原つつじヶ丘店
〃	文教堂書店新白河店	〃	文教堂書店小倉台店	青 梅 市	ブックスタマヶ瀬店
相 馬 市	文芸堂相馬店	〃	宮脇書店稲毛沼原店	福 生 市	ブックスタマ福生店
	茨城県	〃	くまざわ書店蘇我店	町 田 市	文教堂書店木曾店
水 戸 市	川又書店県庁店	市 川 市	文教堂書店行徳店	〃	玉川学園購買部
牛 久 市	文教堂書店牛久店	〃	アークBC南行徳店	日 野 市	啓文堂書店高幡店
下 館 市	文教堂書店下館店	〃	文教堂書店市川店	多 摩 市	啓文堂書店多摩センター店
潮 来 市	文教堂書店潮来店	習 志 野 市	くまざわ書店津田沼店	八 王 子 市	文教堂書店長沼店
守 谷 市	WG 守 谷 店	〃	ときわ書房イトーヨーカドー東店	〃	啓文堂書店八王子店
稲敷郡阿見町	文教堂書店阿見店	柏 市	文教堂書店新柏店		神奈川県
古 河 市	文教堂書店総和店	〃	文教堂書店北柏駅前店	横 浜 市	文教堂書店横浜北山田店

2005年〔歴史書ベストフェア〕出品／参加書店一覧

横浜市	文教堂書店桂台店	福井県	名張市	ブックスアルデ
〃	文教堂書店立場店	越前市	伊勢市	宮脇書店伊勢店
〃	文教堂書店中山店	山梨県		滋賀県
〃	文教堂書店港北ニュータウン店	甲府市	彦根市	太田書店
〃	平坂書房戸塚店	都留市	〃	サンミュージック彦根店
川崎市	文教堂書店溝ノ口駅前店	長野県	〃	ブラザ
厚木市	文教堂書店R412店	松本市	湖南市	山本書店
鎌倉市	文教堂書店大船モール店	佐久市		京都府
〃	邦栄堂書店	伊那市	京都市	大垣書店本店
〃	たらば書房	小諸市	〃	くまざわ書店四条烏丸店
茅ヶ崎市	長谷川書店ネスパ店	諏訪市	〃	ブックス新京都
〃	文教堂書店茅ヶ崎南店	東筑摩郡山形村	〃	山科書店薬大前店
横須賀市	くまざわ書店横須賀店	岐阜県	〃	葵書房
大和市	文教堂書店鶴間店	岐阜市	〃	葵書房洛西店
愛甲郡愛川町	文教堂書店中津店	〃	福知山市	AVIX 福知山店
高座郡寒川町	文教堂書店寒川店	中津川市	相楽郡精華町	アカデミアけいはんな店
	新潟県	高山市		大阪府
新潟市	戸田書店新潟南店	大垣市	大阪市	ジュンク堂天満橋店
〃	知遊堂赤道店	各務原市	〃	喜久屋書店阿倍野店
〃	文信堂CoCoLo本館	静岡県	東大阪市	栗林書房本店
〃	萬屋南万代店	浜松市	〃	宮脇書店東大阪店
〃	萬屋横越BP店	〃	茨木市	ナカニヤ書店追分門大書館部
長岡市	文信堂長岡店	清水市	〃	ロザヴィア 虎谷
上越市	文教堂書店上越本町店	焼津市	堺市	ブックスファミリア
〃	萬屋上越インター店	〃	羽曳野市	丸善四天王寺国際仏教大学売店
〃	BT コスモス	〃	泉南郡熊取町	道明書店
小千谷市	宮脇書店小千谷店	浜北市		兵庫県
十日町市	ブックス平沢妻有店	〃	神戸市	紀伊國屋書店西神店
新津市	本の店 英進堂	伊豆の国市	明石市	巖松堂
加茂市	番場堂書店	駿東郡長泉町	〃	くまざわ書店明石店
新発田市	栄佳堂書店グリーンコート店	田方郡函南町	姫路市	宮本書店
〃	栄佳堂書店コモ店	愛知県	〃	黒田書店
南魚沼郡六日町	ブックスコロパス	名古屋市	三木市	ブックスオリオン三木ジャスコ店
佐渡市	萬屋佐和田店	〃	加西市	毛利書店
	富山県	〃	赤穂市	赤穂書房
糸山市	清明堂堀川店	〃	城崎郡香住町	紺屋堂書店
〃	清明堂	安城市		奈良県
高岡市	文苑堂野村店	一宮市	奈良市	文教堂書店押熊店
氷見市	松村屋ブラファ店	〃	〃	豊住書店
	石川県	北名古屋店	〃	たつみ書店サントウン店
金沢市	ブック宮丸金沢南店	知多郡東浦町	〃	ラックス奈良柏木店
〃	うつのみや	三重県	橿原市	ザ・リブレット 橿原
小松市	ブックランド長野店	津市		和歌山県
		〃	橋本市	ツモリ西武店

新宮市	荒尾成文堂	広島県	北九州市	ブックセンタークエスト小倉店
	島根県	広島市	＊	ブックセンタークエスト黒崎店
松江市	今井書店殿町店	福山市	＊	くまざわ書店小倉店
＊	千鳥書房	山口県	＊	アカデミアサンリブ小倉店
益田市	ブックセンタージャスト高津店	柳井市	豊前市	にれ書房
	岡山県	徳島県	糟屋郡粕屋町	フタバ図書TERA福岡東店
岡山市	大真屋書店新保店	徳島市		佐賀県
＊	宮脇書店平島店	愛媛県	佐賀市	くまざわ書店佐賀店
＊	オサダ文昭堂本店	松山市		大分県
倉敷市	宮脇書店倉敷ルブラン店	＊	別府市	明林堂別府本店
＊	宮脇書店倉敷店	高知県		宮崎県
高梁市	開進堂高梁店	高知市	都城市	田中書店妻ヶ丘本店
笠岡市	宮脇書店新笠岡店	福岡県	＊	田中書店川東店
		福岡市		
				金文堂福岡大学店

●スペイン海洋帝国の誕生を描く雄大なドラマ

黄金の川

スペイン帝国の興隆

ヒュー・トーマス 岡部広治監訳 林大訳

A5判貼函入・15750円
本巻648頁カラー図版
24頁・別巻192頁(注釋
本巻と別巻セド分売不可)
※割引文献一覧は必

●1950年代の社会運動の歴史的位置と役割

戦後社会運動史論

1950年代
を中心に

広川禎秀・山田敬男編 46判・3045円

憲法改悪などの民主主義破壊の策動に対抗するために、新たな社会運動が求められている。50年代の社会運動の分析を通じてその課題を探る。

●(皇室)はこれらにも必要か。いまこそ国民的な議論を

明仁さん、美智子さん、 皇族やめませんか

元宮内庁記者
から愛をこめて

板垣恭介 記事にはならなかった多くの秘話と豊富な資料を駆使
46判・1260円 して、切れ味鋭く語る、人間味あふれる問題提起の書。

主な目次

- 第一書 岐路に立つスペイン
- 第二書 コロンブス
- 第三書 ボタデーリヤとオバンド
- 第四書 デイエゴ・コロソ
- 第五書 バルボアとペドラルリアス
- 第六書 シスネーロス
- 第七書 カルロス、王にして皇帝
- 第八書 エル・エスパーニヤ
- 第九書 マゼランとエルカーノ
- 第十書 新たな帝国

税込価格

東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651<代表>

大月書店

ホームページ
<http://www.otsukishoten.co.jp/>

この春はいつもの年より長く、満開の桜を楽しめたような気がします。さて、4月6日の「城の日」に、(財)日本城郭協会の40周年事業により、姫路城や首里城をはじめとする「日本名城100選」が認定されました。そこで、歴史書懇話会では、「日本の名城・城郭フェア」を企画しました。前号でご案内した「歴史書基本図書フェア」とあわせ、お楽しみ下さい！

- **ジュンク堂書店仙台店「歴懇連続フェア」開催中**
6回「東北の本 大集合！」3/10～4/30
7回「2006 春の歴史基本図書フェア」5月
- **岩波ブックセンター信山社「歴懇連続フェア」再開**
5月から又、歴懇連続フェアを始めます。乞うご期待！
- **八重洲ブックセンター本店・4階で開催！**
「これだけは読んでおきたい歴史の基本書フェア」4/16～5/13
新年度を迎え、あらためて歴史を学びたい人にオススメの本を揃えました。
- **紀伊國屋書店新宿本店・5階で開催！**
「日本の名城・城郭フェア」
「歴史書早わかり・基本書フェア」
名城フェアと新学期に歴史を学ぶための基本図書フェアを同時開催します。
- **三省堂書店神田本店・4階で開催！**
「日本の名城・城郭フェア」4月下旬～
各地に残る名城や城郭に関する、さまざまな本を取り揃えました。
- **Books なかだ本店「戦国時代フェア」5月中旬～**
歴懇と地元出版社の協力で、特に佐々・神保・前田…北陸の戦国武将や一向一揆関連書まで取り揃えます。
- **リプロ金沢店「歴懇連続フェア」開始！**
「お城めぐりをしませんか？—よみがえれ金沢の城—」4/下旬～5/下旬
戦国時代の武将と城郭、そして合戦に関する本を取り揃えました。
「あなたはどっち 九州 vs 近畿 邪馬台国」5/下旬～6/下旬
古代王朝の謎の解明に挑んだ、多くの研究者の成果をたどります。
- **今井書店「歴懇連続各社フェア」ロングランで開催中！**
本の学校今井ブックセンター（米子市）「吉川弘文館フェア」4月～5月
今井書店吉成店（鳥取市）「思文閣出版フェア」4月～5月
- **紀伊國屋書店徳島店「歴懇連続フェア」開催中**
3月開催の第6回「徳島関連書フェア」に続いて、4月中旬から第7回「日本の名城・城郭フェア」を開催。各地に残る名城や戦国武将・合戦に関する本を取り揃えました。

巻頭エッセイ関連図書

十九世紀日本の園芸文化

江戸と東京、植木屋の周辺

平野 恵著

従来、園芸史では言及されなかった本草学・見世物研究分野を視野に入れ、化政期の狂歌界との関連を指摘するなど「園芸文化」という新領域を開拓する。

▼A5判・五五〇頁／定価六、八二五円

数奇の革命

利休と織部の死

児島 孝著

千利休と古田織部の死に焦点を当て、「一茶の湯に習いはない」をキーワードに、日本文化の成り立ちに決定的な影響を与えた数奇の茶の実像を明かす。

▼四六判・二五〇頁／定価二、一〇〇円

京都高瀬川

角倉了以・素庵の遺産

石田孝喜著

高瀬川の運河開削の歴史をたどり、舟入や橋の変遷など、多方面から歴史と文化のすがたを描く。図版多数。

▼A5判・二五〇頁／定価二、三二〇円

新興俳人の群像

「京大俳句」の光と影

田島和生著

昭和8年京大関係者の俳句雑誌として発足した「京大俳句」の盛衰を軸に、新興俳句運動に参加した人物と作品を紹介。

▼四六判・二九八頁／定価二、四一五円

百人一首万華鏡

白幡洋三郎編

百人一首の成り立ちから外国語訳や宝塚歌劇との関わりに至るまでさまざまな角度から紹介する百人一首文化誌。挿図多数。

▼B5判・一九六頁／定価一、五二〇円

逆欠如の日本生活文化

日本にあるものは世界にあるか

園田英弘編著

日本にあるものは世界にあるか。従来、西洋を中心とした方法論ではなく、日本に出発点をおいた文化比較論に基づく論考一四篇。

▼A5判・四〇四頁／定価三、九九〇円

思文閣出版

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 ☎075(751)1781
http://www.shibunkaku.co.jp/ F075(752)0723

呈内容見本
(価格は税5%込)

江戸時代 史叢書 ② 生類憐みの世界

根崎光男著

《新刊》四六判・四八頁・二六五円

十七世紀の動物愛護令である「生類憐みの令」を詳細に検討し、人間の動物保護への取り組み方の歴史的視座を提供。

心と形の考古学

認知考古学の冒険

小杉 康編

《新刊》A5判・二〇六頁・五〇〇円

人類の物質文化創出の過程で、認知能力と造形表現の発達の相互関係を旧石器文化以来の文化的諸要素の中に探る。

度量衡の事典

阿部 猛著

《新刊》四六判・三四頁・九七五円

古今東西の度量衡に関する用語約一〇〇〇項目を簡潔に解説し、詳細な分類索引から容易に言葉を引き出ることができる。

東北アジアの青銅器文化と社会

甲元眞之著

A5判・三四頁・六三〇円

朝鮮半島初期農耕社会の研究

後藤 直著

B5判・四八頁・九七五円

ものごころ 食の民俗考古学

橋口尚武著

A5判・三三頁・三九〇円

シリーズ 日本の遺跡

菊池徹夫 企画・監修
坂井秀弥

⑦ 今城塚と三島古墳群

◎四六判・上製・各巻一〇〇頁前後
森田克行著・八六〇円

⑧ 加茂遺跡

岡野慶隆著・八六〇円

⑨ 伊勢斎宮跡

《新刊》泉 雄二著・八六〇円

⑩ 白河郡衙遺跡群

《近刊》鈴木 功著・八六〇円

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 板橋00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com



戦国遺文

古河公方編 全一卷

佐藤博信〔編〕

東国政治史の中心的存在であつた古河公方足利義氏までの歴史的位をを知る貴重な史料。

本書は、東国における象徴的な存在であつた関東足利氏の発給・受給文書及び参考文書約一五二〇通を編年により配列、収録したものである。本編はⅠ古河公方編、Ⅱ一族編、Ⅲ雪下殿・小弓公方編、Ⅳ奉行人編の四編に分け、喜連川氏として存続した関東足利氏の長期にわたる歴史的位をすることができる文書史料。

A5判 四四〇頁 定価一八九〇〇円

暦を知る事典

岡田芳朗・伊藤和彦・後藤晶男・松井吉昭〔著〕

〈暦のしくみ〉太陽暦、太陰暦、グレゴリオ暦など。〈日本の暦の変遷〉原始的暦法、仮名暦の発達、明治改暦など。〈暦の内容〉具注暦の形式と暦注、現代の暦注など。〈暦の種類〉地方暦、絵暦など。それぞれに挿図を多数収めて解説する暦小百科。付録に年号表、年暦表、年間行事などを収録。

四六判 三二〇頁 定価二六二五円

好太王碑拓本の研究

徐建新〔著〕

新発見の資料をはじめ、約五〇種の拓本を調査、古代日本の朝鮮出兵に関する九六文字を比較検討、かいざん説を否定する。定価一五七五〇円

古代東国地域史と出土文字資料

高島英之〔著〕

古代東国地域史試論と出土文字資料からみた在地村落社会の二部に分けて出土文字資料の精密な分析を通して古代社会を考察した。定価九九七五円

古記録による15世紀の天候記録

水越 允〔編〕

応永7年12月8日〜明応9年12月1日までの室町中期の日々の天候記録をまとめた。一〇〇年間の天候記録から読み解く歴史資料定価三九九〇〇円

東京の地名由来辞典

竹内 誠〔編〕

現在の東京二十三区内の江戸期以来の地名から、約一七〇〇を収録した。地名の由来、変遷、歴史的事蹟など平易な解説を加える。定価三三六〇円

東京堂出版

101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
電話 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746

(価格表示)
は税込み

◆歴史家は20世紀を如何に生きたか？

20世紀の歴史家たち(刀水歴史全書45)

〔編集〕今谷明・大濱徹也・尾形勇・樺山絃・木畑洋一
〔既刊〕日本編「上」世界編「上」下 四六・平均五〇頁 各¥二五〇
第5巻 日本編(続) 刊行間近!
(以下収録予定の)
(歴史家と執筆者)

〔志茂樹(古川貞雄)〕江口朴郎(木畑洋一)岡正雄(大村大良)
加藤繁(尾形勇)狩野直喜(百川芳郎)岸俊男(鎌田元)
桑原隲蔵(磯波護)坂本太郎(笹山晴生)清水三男(網野善彦)
竹内理三(樋口州男)田中惣五郎(木間恆)中村孝也(中田易直)
中村吉治(岩本由穂)西岡虎之助(西垣晴次)服部之総(大濱徹也)
羽仁五郎(斎藤孝)林屋辰三郎(今谷明)前嶋信次(窪寺絃)
宮地直一(西垣晴次)矢野仁一(狭間直樹)和辻哲郎(樺山絃)

復刻雑誌『兵隊』

南支派遣軍報道部刊
〔解題〕大濱徹也

〔推薦〕木村尚三郎・小沢昭一・鶴見俊輔・石田一郎
日中戦争中の広東に兵隊が自由に投稿する雑誌『兵隊』があった。初代編集長は火野葦平。兵隊の日常生活や思いが描かれた大衆雑誌の復刻
四六倍判・36冊4合本、一九四二頁、投稿三三七四人、¥三万五〇〇

〔補遺〕37・38・39合本 四六倍判・一九四頁 ¥三三〇〇
続く三冊を発見。最終号は昭和十九年五月二〇日発行

日本人と戦争

歴史としての戦争体験

大濱徹也著(刀水歴史全書47) 四六・二八〇頁 ¥五三〇

敵国日本

太平洋戦争時アメリカは日本をどう見たか?
(刀水歴史全書61) 四六・二五五頁 ¥三〇〇

好評!

太平洋戦争にいたる道

あまアメリカ人 記者の見た日本
(刀水歴史全書74) 四六・二八四頁 ¥二五〇〇

W・フライシャー著/内山秀夫訳

◆四月・五月の新刊予定

シベリアン・コントロールとデモクラシー

タイアモンド、プラットナー編/中道寿監訳 A5 二五八頁 ¥三三〇
タイ国―近現代の経済と政治 P・ポバイチド著 C・ペイカー

日・タイセミナー記

A5 約七〇〇頁 予備¥二万〇〇〇

ベトナム戦争のアメリカ

白井洋子(刀水歴史全書75)

四六・二五〇頁 ¥二六五

アメリカの世紀

それはいかにして創られたか?
A5 三八頁 ¥三七八〇

学生反乱

〇・サンス著/有賀貞西崎文子訳
A5 二八頁 ¥二九四〇

松浦高嶺・連水敏彦・高橋秀

四六・二八頁 ¥二九四〇

中国宗教とキリスト教の対話

日・キムング・J・チン著/森田安(訳者代表) A5 二九〇頁 ¥四七五

蒙古源流

待望久しいモンゴル史の原典
岡田英弘訳註・解題 A5 総箱 三八〇頁 ¥六三〇〇

ユストウス・メーザーの世界

坂井榮八郎 A5 二五五頁 ¥四九三〇

白人とは何か?

ホワイトネス・スタディーズ入門
藤川隆男編(刀水歴史全書73) 四六・二五七頁 ¥三三〇

貧乏貴族と金持貴族

M・L・ブリン著/水井三明監訳和栗了/和栗珠里訳 A5 二九〇頁 ¥四二〇〇

PR誌

「刀水」

No.9 「史学概論」(未定稿) 後藤均平
立教大学の講義をもとに、晩年、病を押して執筆(無料謹呈)

(価格は税込)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会本館



刀水書房

Tel.03-3261-6190 Fax.3261-2234
http://www.tousuishobou.com

28

境界をまたぐ人びと

村井章介 著

前近代の「日本国」とその外とを区切る境界を考察しながら、そこを往来した人びとの姿を、蝦夷・契丹との媒介者・博多と対馬・竹島などを例に描く。

64

学術調査の歴史

山路勝彦 著

台湾・シベリア・満州など、明治期から戦前期に異文化研究を志した人類学者の足跡を、植民地行政との関わりをなかで考える。

83

東ユーラシアの生態環境史

上田信 著

中国雲南地方を例に、自然の生態系システムの中でいかに文化がつくられ、交易がおこなわれ、歴史が築かれてきたかをダイナミックに描く。

石井進の世界

全6巻

石井進著作集刊行会 編

中世史研究の泰斗・石井進がたどった軌跡を三つの書物と対談・書評などで構成し、さらに今後の中世史研究の方向性に関わる著作を収録する。

全6巻完結。四六判

平均410頁 各6825円

① 鎌倉幕府

② 中世武士団

③ 書物へのまなざし

④ 知の対話

⑤ 中世のひろがり

⑥ 中世史へのいざない

山川レクチャーズ

4月下旬 3冊同時発売

1 スキャンダルと公共圏

ジョンブルア 著 近藤和彦 編

十八世紀のイギリスは、王や貴族、政治家の行状がむしろおかしく諷刺され、メディア対策が政治家の命運を決する時代であった。公と私の間を通じ、権力を分析し、民衆と政治を論じる歴史学講義。

2 古代から中世へ

ピーター・ブラウン 著 後藤篤子 編

古代ローマと中世ヨーロッパが交錯する時代の変化を、古代キリスト教世界から中世キリスト教世界への移行という視点で、ダイナミックに論じる歴史学講義。ピレンヌ学説を鋭く批判する。

3 フランス東インド会社とポンディシエリ

フィリップ・オドレル 著 羽田正 編

十八世紀、アジアの海域を舞台に発展したフランス東インド会社の、貿易商人や宣教師の活躍など、多方面にわたる活動の全容を明らかにする歴史学講義。フランス東インド会社の急成長の秘密に迫る。

B6判 予価1470円〜1995円

山川出版社〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

新なる発想で日本の社会・文化の姿を追い求めた宮田民俗学のエッセンスを集大成！

宮田登 日本を語る

全16巻
刊行開始

② **すくい神とお富士さん** 7730円
① 民俗学への道
宮田民俗学の原点
を探る。 27700円

③ **やはり神と民衆宗教** 4月の新刊
ハヤマ龍一、富士塚信仰、福の神：祀り上げ、棄てられる流行神とは何か。
▽毎月1冊刊行中
▽内容案内送呈

人物叢書

大江匡衡

おえの まさひら
後藤政隆著 平安中期の文人官僚、歌人、赤染衛門と結婚。一条天皇の侍読などを歴任。漢詩文の才で栄達をめざした名儒の生涯。 10000円(税込) ●3月の新刊

京極為兼

きょうごく たかね
井上宗雄著 鎌倉後期の歌人、革新的な歌論、歌風を以て「京極派」を確立する。同族対立の政界に活躍した時代の反骨歌人の生涯。 10000円(税込) ●4月の新刊

民衆史を学ぶということ

佐々木潤次著 2415円
●4月の新刊

東アジアのなかの日本古代史

田村園澄著 近隣諸国との「歴史認識」、外交問題を考える上で読。 22040円 ●4月の新刊

駆込寺と村社会

佐藤孝之著 結婚・離婚・火事・喧嘩……
村の紛争解決システムⅡ駆け込みの実際を探る。 9340円 ●4月の新刊

中世東国の荘園公領と宗教

藤井英夫著 6075円
●4月の新刊

足利安達氏らを輩出した荘園公領の実態と宗教の展開を、文献考古資料を渉猟し解明する。
知っておきたい日本の民俗、七〇〇余を精選！ 福田アジオ、神田より子、新合尚紀、中込睦子、湯川洋司、渡邊欣雄編

精選 日本民俗辞典

ナマハゲ、見るな座敷・足入れ婚・オシラサマ、河童・雪隠参り・人身御供・都市伝説：民俗学の基本用語を精選し、平易に解説。日本のいま、ま、を読み解く辞典。初めて学ぶ人にも好適。
●3月の新刊内、内容案内送呈

精選 日本民俗辞典
9800円

歴史文化ライブラリー

苗字と名前の歴史

坂田 聡著 17600円 ●3月の新刊

戦後政治と自衛隊

佐通明広著 10000円 ●4月の新刊

街道の日本史

各2730円

① **大坂** 撰津・河内、和泉 今井修平・村田頌人編 ●4月の新刊
難波宮、秀吉の築城から天下の台所へ、大阪の過去と現在と「土方文化」を探る。
② **壹岐・対馬と松浦半島** 佐伯弘文編 ●3月の新刊
蒙古襲来、朝鮮侵略など、近隣諸国と密接に関わってきた歴史と文化を探る。

慰霊・追悼・顕彰の近代

矢野敬一著 7600円 ●3月の新刊

家相の民俗学

宮内貴久著 7600円 ●3月の新刊
人々はどうな住居が快適で安寧に暮らせると考えてきたか、日本人の住居観の基層を探る。

中世伊勢神宮史の研究

平泉隆博著 9050円 ●4月の新刊

日本中世の墓と葬送

勝田 至著 8400円 ●4月の新刊

室町幕府の政治と経済

桑山達彦著 9740円 ●4月の新刊

戦国織豊期の社会と儀礼

一木 謙一著 17000円 ●3月の新刊

日本人の宗教と庶民信仰

寺澤文雄編 10000円 ●4月の新刊

江戸幕府の日記と儀礼史料

小宮木代良著 11000円 ●3月の新刊



吉川弘文館

「新刊案内」送呈 (価格税込)
〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目2番8号
電話03-3813-9151(代表) FAX.03-3812-3544
http://www.yoshikawa-k.co.jp/

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・千葉陽介>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <担当者・竹内茂善>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 京都大学学術出版会 606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 京大会館内 <担当者・堤 紀子>
TEL. 075-761-6182 FAX. 075-761-6190
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中関田町2-7 <担当者・中江俊治>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・山坂大樹>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・白石タイ>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・蜂谷起義和>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2006年4月24日発行・第165号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店